



部長通信

第 11 号

2017 年 5 月発行

主題 出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう

副題 ワイズライフを楽しもう

2016-2017 中部部長 川口 恵
(名古屋クラブ)

5 月の西日本区強調月間 YMCA サービス、ASF

船木順司ワイズリーダーシップ開発委員長(京都トップスクラブ)

リーダーシップ無くしてリーダーに非ず！

クラブ、部、区、あらゆる機会に学びの場が存在します。その機会を学びと捉えるか否かがリーダーの資質の違いです。全てを有意義に捉えリーダーシップを身に着けてください。

中部の皆様、新緑の美しい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

5 月になり、当期も多くの活動がなされました。まだこれから交流会や周年行事などの重要なクラブ行事を控えているクラブも多くあります。年度当初に計画された各クラブの活動が実りあるものとなるようにと思っております。今月は 4 月の行事報告と 5 月以降の行事予定についてお知らせします。

1. 神沢保育園ファミリーコンサート
2. 東日本大震災被災地復興支援ツアー
3. 金沢クラブ例会訪問&新入会式
4. 富山 YMCA フリースクール訪問
5. 名古屋クラブメネットナイト
6. 岩本理事より
7. 5 月以降の中部の主な行事について
8. 西日本区大会、アジア・パシフィック大会、次期中部部会、名古屋クラブ 70 周年記念例会
9. その他、西日本区事務所から休日についてのお知らせなど

各クラブ活動は中部ホームページに掲載の各クラブブリテンをご覧ください。

(中部ホームページ URL <http://www.ys-chubu.jp/main/index01.html>)

1. 神沢保育園クラシックコンサート(4 月 1 日)
神沢保育園クラシックコンサートが開催され、グランパスクラブ、南山クラブを中心に名古屋地区ワイズメンによる支援が行われました。

以下は、グランパスクラブ会長早川政人メンより、各会長宛のお礼の言葉より抜粋です。

各クラブからご援助いただきありがとうございました。『気軽に楽しむクラシックコンサート』と題したコンサートは、地域の方もいらして盛況に終わりました。これからもこの活動を通じて、YMCAが地域に根を広げればと思います。次回も活動ができますようご協力お願いいたします。



以下は、グランパスクラブ吉田一誠メンより、演奏者へのお礼の言葉より抜粋です。

4月1日のコンサート大変ありがとうございました。迫力ある素晴らしい演奏に関係者一同感激しました。少し観客、特に子供たちの人数が今までに比べて少なかったのが大変残念で、申し訳ありませんでしたが、皆様のわかりやすい解説と親しみやすい軽妙な司会も相まって、参加した人の心には本格的な音楽の良さが心に響いたのではないかと思います。心より感謝申し上げます。



名古屋YMCAとしてこのようなコンサートを始めて3年、5回のコンサートを開催しました。南山幼稚園、南山ファミリーYMCA、かみさわ保育園、神沢ファミリーYMCAともに継続的にコンサートをこれからも開催したいと思っております。

2. 東日本大震災被災地支援ツアー(4月7日～9日)

東日本震災復興支援ツアーが今年も開催されました。この企画を第1回目から担当しているグランパスクラブ阿部ワイズにこのツアーについて報告していただきました。

東日本大震災被災地支援ツアーを通じて

阿部一雄 (名古屋グランパスクラブ)

私たちが最初に訪れたのは東日本大震災の翌年となる、2012年11月のことでした。その時の衝撃は今でも鮮明に覚えています。

それから毎年被災地を訪れ、名古屋グランパスとして今回で5度目の訪問となりました。

最初に訪れるきっかけは、下記のような思いからでした。

ボランティア支援で被災地を訪れるにしても、普段社会生活をしているため、せいぜい2泊3日程度。これでは観光にすぎないのでは・・と懸念を感じていました。思いきって仙台YMCAに相談してみたところ、仙台青葉城クラブの旅行会社を営む加藤重雄さんを紹介されました。ここで「ボランティアをしたいが現実的には観光になってしまう・・」と告げると「それでいいのです。ぜひ来て、お金を落としていってください。それが支援につながります」と告げられ、とても驚いたことを覚えています。

素早く段取りを済ませ、被災地を訪れると、報道で知らされる事とはまた違った被災地の現実が突きつけられ、5年経つ今までを見てきました。

5年の間には他クラブの方々が徐々に参加を共にして頂くことで、被災地の復興や現状が伝えられてきました。また、名古屋クラブと共催して陸前高田市市長を名古屋にお招きし、講演をして頂くこともできました。翌年には陸前高田市を表敬訪問して市長の話を再びお聞きすることができた。

5回の支援ツアーの中で重要視したのは「語りべ」と呼ばれる、被災の様子を伝え、語ってくれる方々からの話を聞くことでした。また現地のワイズメンズクラブ、YMCA 関係者との交流も必ず行い、被災地で起きていることを人の口から直接聞くことに務めてきました。

地震、津波、原発と言われる三重苦からの復興は6年が経ち、目に見えるところはほぼ整いつつあります。しかしながら、人の心のケア的な側面を支える復興支援がこれからは必要と感じています。復興支援はハードからソフト支援に移行しつつあると言えます。

この支援ツアーは私たちの想いだけでは実現しないものです。アテンドしてくれる現地のワイズや YMCA スタッフの方々など、本当に多くの方々のご協力なしでは実現しないものです。支えてくださる皆様に、感謝の想いで一杯です。

また来年も支援ツアーを実施し、全国へ被災地の状況を伝えるだけでなく、人と人の交流を行い、微力ながら東日本大震災を忘れない活動をこれからも続けていきたいと思えます。

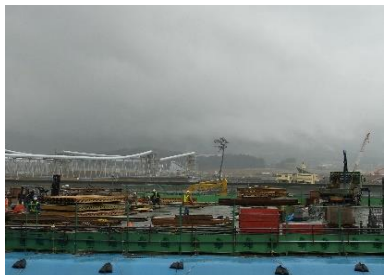


左から

宮城県名取市閑上(ゆりあげ)地区に残る津波被災建物 2017年4月撮影

多くの津波被害者を出した大川小学校 語りべによるお話を聞く様子 2017年4月撮影

岩手県宮古市浄土ヶ浜 多くの津波被害を受けつつも、観光客が徐々に戻ってきてつつある 2016年4月撮影



左から

陸前高田市 巨大な盛り土プラントと高田の一本松 2016年4月撮影

宮城県気仙沼市 陸地奥まで打ち上げられたことで有名となった船 2012年11月撮影

陸前高田市市長表敬訪問 2014年4月撮影



左から

あまちゃんでも有名となった南三陸鉄道
田老駅 2016年4月撮影

南三陸防災庁舎 2014年4月撮影

3. 金沢クラブ例会訪問&新入会式(4月20日)

今年度の最後の例会訪問は金沢クラブで、私、谷川書記、郷戸メネット事業主査と訪問しました。金沢クラブ例会は金沢ニューグランドホテルという老舗ホテルで開催。卓話の講師は、金箔の街金沢らしく、「金沢・金の科学館」代表であり、高校の先生である四力浦弘氏でした。実験が大好きとのことで、当日も、実験をしながらの金属の説明に、皆わくわくして、聞いていました。また、四力浦氏はタモリのテレビ番組「ぶらタモリ」にも出演して、「金沢の地名の由来は、昔は金が採掘できたためであり、今も砂金が川で採れる」との説明をされたとのこと。



新入会員入会式では、西会長より新しく会員となった山本浩一郎氏に会員バッジが装着されました。

金沢クラブの例会は、メネットさんの参加が多く、ユース3名、私たち3名を含めて総勢20名の例会でした。次年度は、金沢の山内ミハルメンが部長となりますので、メネット活動を含めて活発な活動が期待されています。



4. 富山 YMCA フリースクール訪問(4月21日)

金沢クラブ例会訪問に続き、富山YMCAフリースクールを、金沢クラブ清水ワイズの案内でメネット事業主査の郷戸ワイズと訪問しました。詳細は郷戸ワイズが中部ホームページに掲載予定です。

当期のメネット事業は、福岡のフリースクール「エスペランサ」の支援事業でしたので、中部のYMCAで唯一フリースクールのある富山YMCAフリースクールを訪問して、どのような活動をされているのか、富山YMCA総主事松田誠一さん、駅前センター所長上村香野子さんにお話を伺いました。

富山は進学熱心な土地柄で、希望校に入れないと高校浪人も出ていたとのこと。YMCAでは従来の学校教育から離れたもう一つの学習の場として、社会生活に必要な知識や人間関係の在り方を学ぶ場を提供しており、富山YMCAフリースクールは不登校や中退で学校に行かない子どもの学習と社会活動の提供の場として1989年に開始。2003年に小・中学生の居場所「フリースペース」と就労体験の場「Y's さくらカフェ」を開設。

フリースクールに来る子供は、特別な子供ではなくふつうの子供で、ただちょっとしたきっかけで学校に行きにくいと感じてしまった子供達であること。フリースクールの卒業生は、頭のいい子も多くて有名な大学に進学したりもしていること。年末のYMCAのクリスマス会では、フリースクールの子供も率先して運営に参加していること。YMCA キャンプでは、リーダーたちに交じってお手伝いをしていることなど。また、毎年富山YMCA フリースクールスタディツアーが開催され、2016年夏は、フィリピンを訪問し、参加した子供達は、将来を真剣に考え始めたり、「何か」を大切に、経験と感動を得ていること(このスタディツアーは2016年10月富山YMCA ニュースに記載されています。)

富山では、福祉について富山型デイサービスといわれる、高齢者も障がい者もお年寄りも子供も一緒に、という方式が採用されています。フリースクールについてもフリースクールに通っている子供も普通の学校に通っている子供も一緒に行うプログラムもあるとのこと。すべてのひとが、自然に、共に生きていく社会を目指しているように思われます。



写真は、左から

駅前スクール所長上原香野子さん、
上原所長、金沢クラブ清水ワイズ、富山YMCA 松田総主事、四日市クラブ郷戸メネット主査
郷戸主査、川口、上原所長、松田総主事、後列清水ワイズ

※富山YMCAは、1951年誕生。創立のきっかけは、北米YMCA同盟主事ディーン・リーパー氏が、1950年に富山を訪れ設立を呼びかけたことです。(ディーン・リーパー氏は1954年9月26日青函連絡船「洞爺丸遭難事故」で他者を助けるために自己の救命胴衣を渡して犠牲となりました。)

現在富山YMCAは、英語、野外活動、学童保育、フリースクールなどのほか、保育園の運営を行っています。毎月1回、会員定例会では卓話もあります。詳しくは、富山YMCAホームページや富山YMCAニュースなどをご覧ください。富山YMCAホームページは以下のとおりです。

URL <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp>

5. 名古屋クラブメネットナイト(4月11日)



名古屋クラブでは、毎年4月の例会はメネットナイトとして、メネットさんの企画による例会となっています。名古屋クラブメネット会は創立57年で、今年のメネットナイトの内容は、今後のメネット活動の在り方についてでした。以前は、ワイズの例会や行事に参加されるメネットさんが多かったが、今はベテランのメンバーのメネットさんは参加されるが、そうでない方の参加は少ないのが現状です。

司会は深谷メネットで、本日の讚美歌は、西村メネットの奏楽により天国に行かれたワイズ、ワイズメネットを偲んで「花彩る春を」でした。

毎年のメネットナイトは、メン主催の例会とは一味違う暖かく和やかな雰囲気の例会となっており、今年はテーマはやや重いものの、やはり暖かい雰囲気となりました。

6. 岩本理事より

鹿児島クラブ新入会員の紹介



理事通信4月号に、鹿児島クラブに昨年10月に89歳で入会された尾崎慶子さんと、岩本理事との記事が載っています。入会の動機は「熊本地震被災者を支援したい」とのこと。岩本理事は、「人間年齢ではない、こころのもちようである。」、サムエル・ウルマンの青春とはでも「真の青春とは、若き肉体のなかにあるのではなく、若き精神の中にこそある」と述べられています。

※理事通信では毎月、各クラブの新入会員名を掲載しており、熊本、京都地区をはじめとして、神戸地区などで新入会員が多くなっています。これに対して中部では、年間の新入会員は4月に金沢クラブで1名のみとなっています。

7. 5月以降の中部の主な行事について

5月3日～5日 名古屋YMCAリーダートレーニング
ワイズの参加は5月4日～5日を予定しています。

5月14日(日):名古屋東海クラブ 50周年記念例会

場所:マリエカリヨン名古屋(出雲殿グループ)

電話 052-582-1122

時間 12:30～16:00

記念式典 12:30～

記念講演 12:45～

講師 岡 成也熊本YMCA総主事

「熊本地震！ そのとき、YMCAは！」

懇親パーティ 14:00～

登録費 10,000円

問い合わせ先は 名古屋YMCA 浅野真琴連絡主事

052-757-3331

申込み期限は4月30日

5月27日(土) 当期第3回中部評議会と次期第1回中部評議会が開催されます。

場所は名古屋YMCA池下本館で、時間は当期が13時～15時、次期が15時～17時です。評議会の構成メンバーの方はご予定ください。

8. 西日本区大会、アジア・パシフィック地域大会、次期中部部会 & 金沢クラブ 70 周年記念例会、名古屋クラブ 70 周年記念例会について

第 20 回西日本区大会

6 月 9 日(金)前夜祭 19:00~21:00 菊池温泉 笹野屋

6 月 10 日(土)~11 日(日) 西日本区大会

10 日大会第 1 日 菊池市文化会館

受付開始 11:30~

大会第 1 日 13:00~16:00

懇親会 19:00~21:00 ホテル日航熊本

11 日大会第 2 日 8:00~11:00 ホテル日航熊本

※登録・宿泊・エクスカーションに関する問い合わせ

西鉄旅行株式会社熊本支店 担当 矢住、小崎

電話 096-383-2700 Fax 096-383-2710

営業時間 平日 9:30~18:00 土曜 9:30~12:50 日曜・祝日休み

※大会運営に関する問い合わせ

大会事項委員会事務局

熊本ワイズメンズクラブ 入佐孝三メン、熊本にしワイズメンズクラブ 宮田茂メン

西日本区大会(主題 未来につながるワイズ魂)の案内は、各ワイズに配布されており、すでに申込みされている方が多いと思いますが、大会実行委員会からの交通機関に関する留意点です。

※1 日目の大会会場は菊池温泉です。菊池温泉は熊本市内から 1 時間 30 分ほどかかり、タクシーも少ないので、夕方懇親会に参加される方は、熊本市内に戻るのに、大会実行委員会の手配したリムジンバスを利用していただくこととなります。大会申込書のリムジンバス⑧を申し込んでください。申し込まれていない方は今から追加で申し込んでください。

※大会についての他の留意点は 理事通信 4 月号をご覧ください。



第 27 回アジア・パシフィック地域大会

2017 年 7 月 21 日(金)~23 日(日)

タイ・チェンマイ

※ユースコンボケーションは、7 月 19 日~23 日 タイ・チェンマイYMCA。ユースコンボケーションへの参加者を募集中です。

※オフィシャル・エージェントは株式会社トラベルファイブジャパン(TEL06-6253-0212 Fax06-6253-0679)です。 ツアーとして7月20日(木)~24日(月)5日間のコース、と7月20日(木)~25日(火)6日間のコースがあります。問い合わせはトラベルファイブへ。

次期中部部会 & 金沢クラブ創立 70 周年記念式典

次期中部部会 & 金沢クラブ創立 70 周年記念式典は 2017 年 9 月 18 日(月・祝日)に金沢で開催されます。前日の 9 月 17 日にはフェローシップアワー、当日の午前には金沢城・兼六園ツアーも予定されており、部会では友禅作家の講演が予定されています。今からご予約ください。また、会場の金沢ニューグランドホテルへの宿泊希望者は早めに山内メンにお申込みください。

9 月 17 日 18:30~ フェローシップアワー

9 月 18 日 9:00~11:00 金沢城・兼六園ツアー

12:00~ 部会受付

12:30~ 部会式典

13:30~14:15 講演会 加賀友禅作家 毎田仁嗣氏

14:30~17:00 金沢クラブ創立 70 周年記念式典・懇親会

会場 金沢ニューグランドホテル

尾山神社正面・金沢市文化ホール前

午前ツアー集合場所:ホテルロビー

電話:076-233-1311(代)

申込先 次期中部部長 山内ミハル メン (携帯電話番号はロースター参照ください。)

申込締切り 8 月 13 日(日) 金沢ニューグランドホテルでの宿泊希望者はお早目に。

名古屋クラブ 70 周年記念式典

2018 年 3 月 4 日(日)アイリス愛知 13時から16時での開催を予定しています。詳細については名古屋クラブで検討中です。決まり次第ご案内いたします。

9. その他、西日本区事務所から休日についてのお知らせ

元日本区理事竹内敏郎さまお別れの会

日時 2017 年 5 月 27 日(土) 1 時~4 時

場所 熱海 YMCA センター

西日本区事務所から休日についてのお知らせ

西日本区事務所は経費節減のため、この 2017 年 4 月 1 日から毎週火曜日が休日となります。この結果、事務所が開いているのは毎週月・水・木・金、時間は 13 時~17 時(祭日は休日)となります。

※詳細は理事通信 4 月号をご覧ください。